

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和8年1～3月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	60事業所
3. 回答率	48.0%
4. 業種別内訳	
製造業	10事業所
建設業	5事業所
卸売業	3事業所
小売業	21事業所
サービス業	21事業所
合計	60事業所

5. 実施時期

令和8年 4月上旬～5月下旬

6. 調査対象期間

令和8年 1月から3月（第4四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

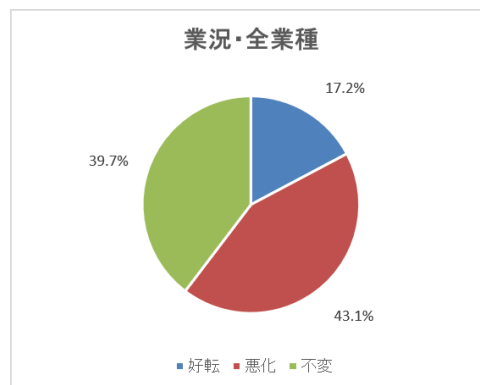
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和7年1月～3月）のDI値は▲25.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は17.2%、悪化したと回答した事業所が43.1%、変わらないと回答した事業所39.7%だった。



令和7年1～3月の前年同期比について、売上の増減に関わらず、仕入価格の高騰が課題となっている。価格転嫁を行い、売上は上がっているように見えるが経費が多くかかるようになり、採算は悪化したという声も上がっている。また、資金繰りが悪化しているという回答もある。

	R7. 1～3 前年同期比	R7. 10～12 前期比	R8. 4～6 見通し
全業種	▲25.0	▲41.7	▲25.0
製造業	▲10.0	▲10.0	▲10.0
建設業	▲0.0	▲20.0	▲20.0
卸売業	▲100.0	▲100.0	▲66.7
小売業	▲33.3	▲47.6	▲38.1
サービス業	▲19.0	▲47.6	▲14.3

来期見通し（令和8年1～3月）のDI値については、▲25.0ポイント。

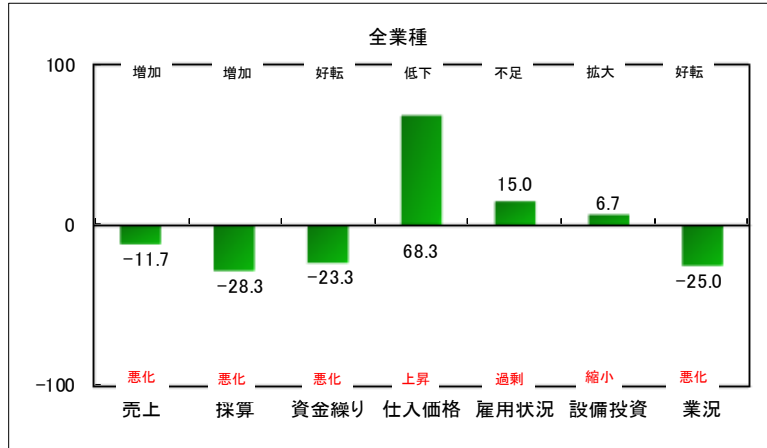
全ての業種、悪化の見込み。

各業種で、仕入価格高騰・人件費の上昇・人手不足が変わらず、見通しが立たないことへの不安を吐露している。また、中東情勢により、材料仕入れの見通しが立たない為、先行きが不透明と回答する事業所もある。前期調査より、DI値はやや改善しつつあるが、資金繰りに不安を抱えている声もある。

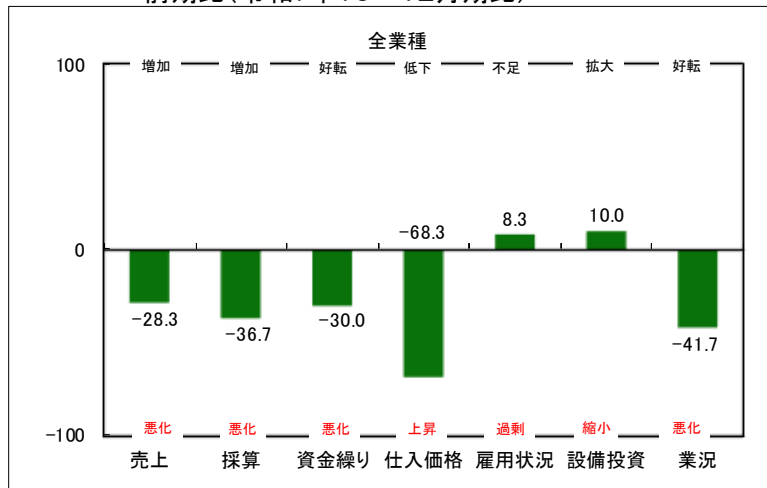
市内景気動向

全業種

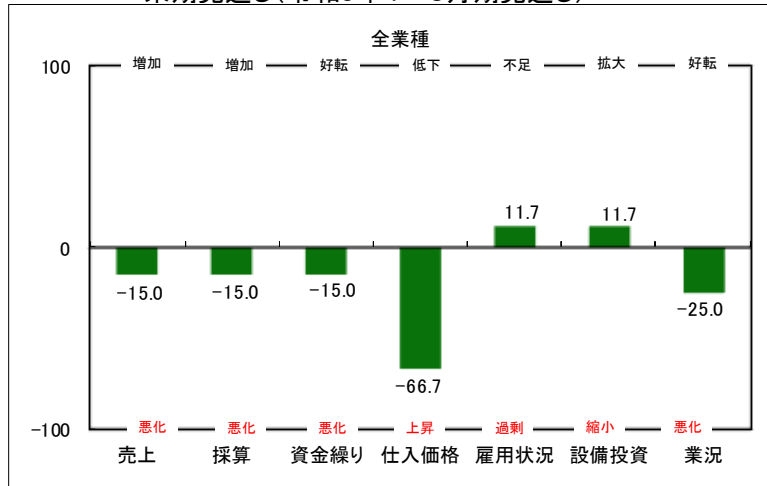
前年同期比(令和7年1~3月期比)



前期比(令和7年10~12月期比)



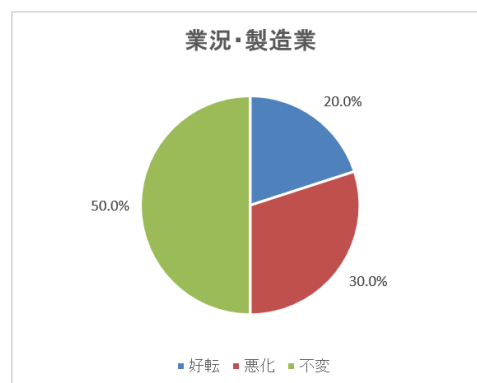
来期見通し(令和8年4~6月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲10.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、20.0%、
悪化したと回答した事業所が30.0%、
変わらないと回答した事業所が50.0%だった。



来期見通しD I 値については▲10.0ポイントで、
悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【水産加工業】

- ・「商品の販売は、前年と変わらないがメインとなる漁獲量が無くかなり厳しい状況にある」

【鉄鋼業】

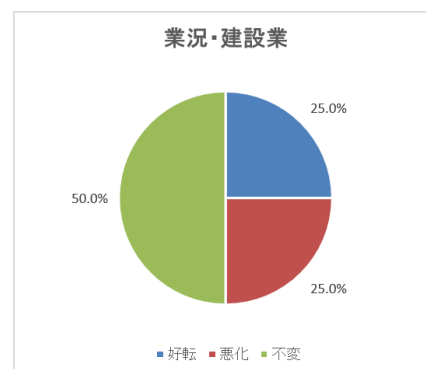
- ・「物価高騰、資材入手困難など不安要素が多いため」

【食品製造業】

- ・「仕入価格は上昇している。価格転嫁を行い売上の確保をしている」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値00.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25.0%、
悪化したと回答した事業所は25.0%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。



来期見通しのD I 値は、▲20.0ポイントで、悪化の見通しとなっている。

○主な意見

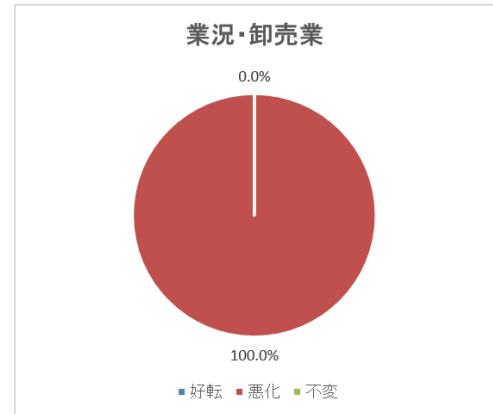
【一般土木工事業】

- ・「工事の発注がはっきりしない」
- ・「仕入価格が上がっている」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲100.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が100.0%、
変わらないと回答した事業所が0.0%
だった。

来期の見通しD I 値は▲66.7ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【その他の食料・飲料卸売業】

・「売上は変わらないが、経費がかかるようになった。」

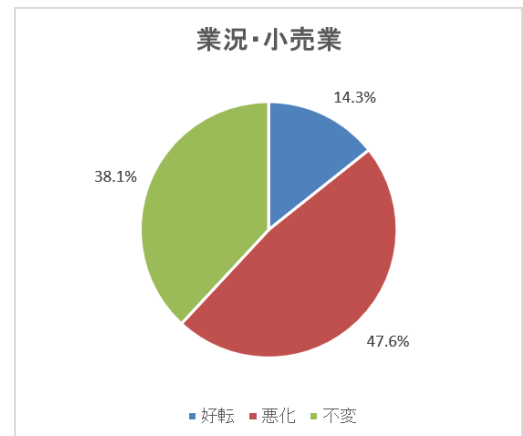
【建材卸売】

・「建設業界は変わらず減少傾向。材料の仕入れ見通しが中東情勢の為、不透明。業界の売上が予想できません。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は14.3%、
悪化したと回答した事業所は47.6%、
変わらないと回答した事業所は38.1%だった。

来期の見通しD I 値は、▲38.1ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車小売業】

・「今年も大変な年になりました。戦争、円安、物価高が続き、まだまだ不景気になり、消費が拡大しない事に尽きると思っています。」

【飲食店】

・「鮮魚が仕入れ高・在庫が買えない。」

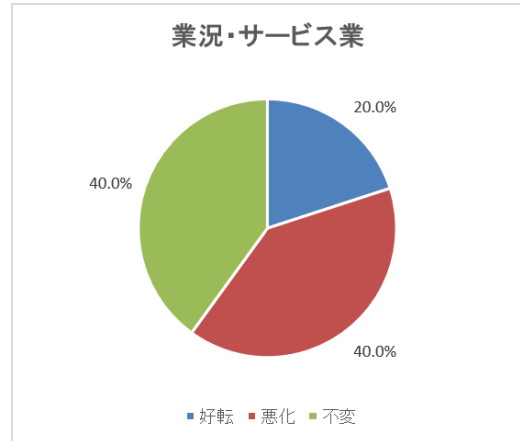
【家電製品小売】

・「2027年問題のよるエアコンの売上に期待」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲19.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、
悪化したと回答した事業所は40.0%、
変わらないと回答した事業所は40.0%だった。

来期見通しD I 値は、▲14.3ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車整備業】

- ・「中東情勢により、油脂類の注文ができず先行きの見通しが立たない。企業努力ではどうする事もできず不安である。」

【衣服裁縫修理業】

- ・「職人不足により需要と供給のバランスが崩れています。」

【専門サービス業】

- ・「物価高のため」

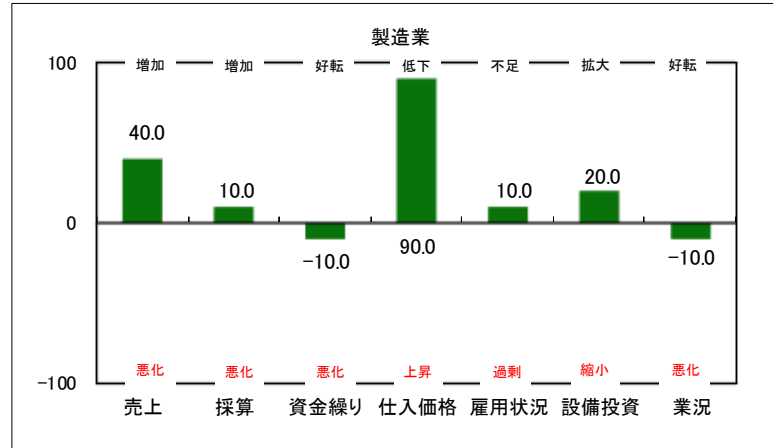
【美容業】

- ・「増店にともない売り上げアップに繋がった。業界的1.2月は売り上げが下がる傾向にある。」

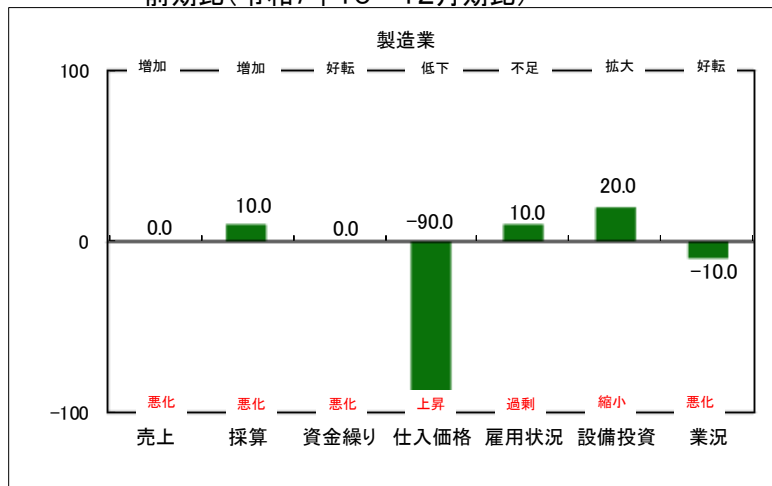
業種別景気動向

製造業

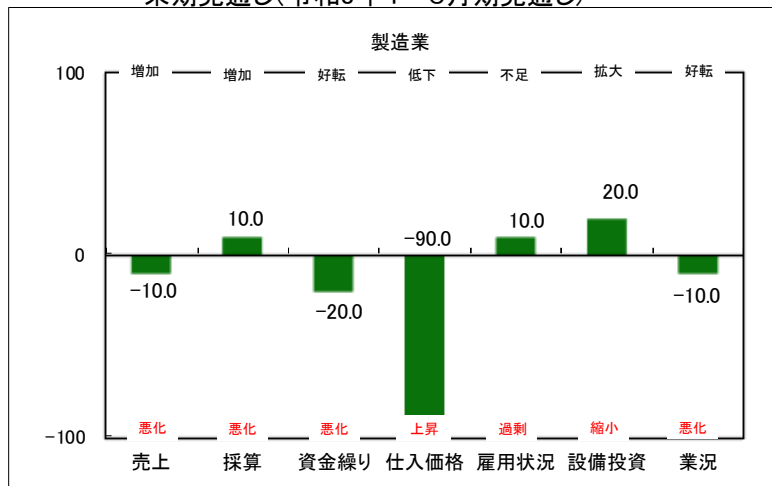
前年同期比(令和7年1~3月期比)



前期比(令和7年10~12月期比)



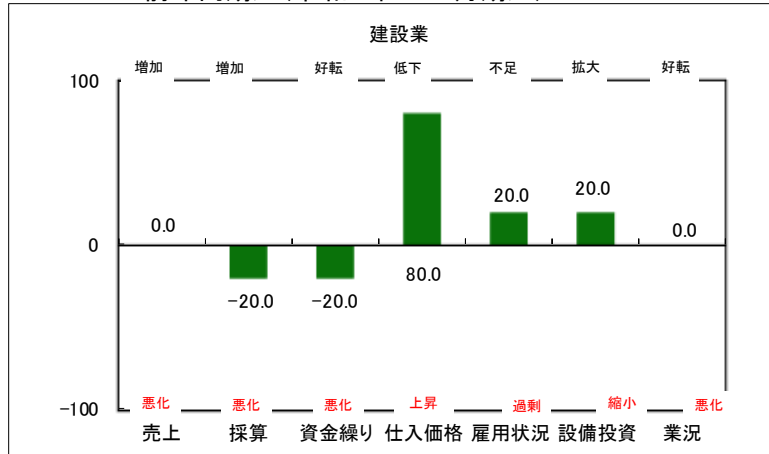
来期見通し(令和8年4~6月期見通し)



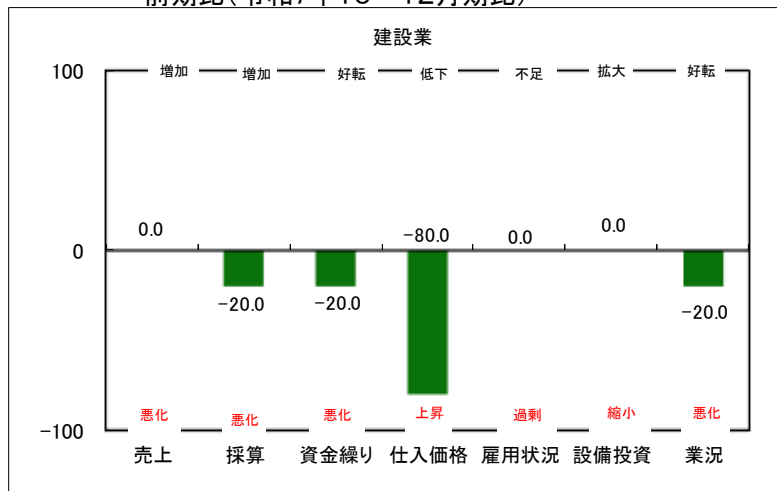
業種別景気動向

建設業

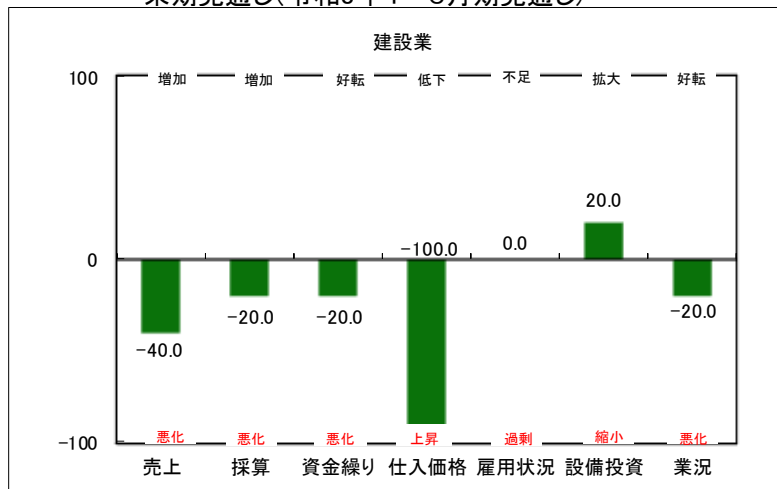
前年同期比(令和7年1~3月期比)



前期比(令和7年10~12月期比)



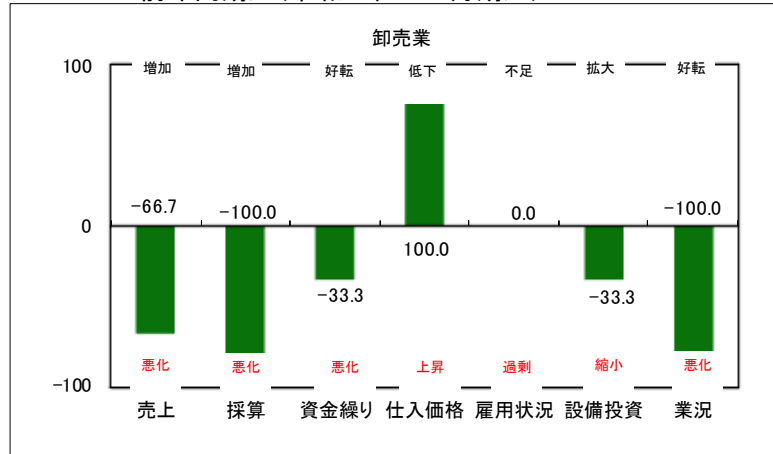
来期見通し(令和8年4~6月期見通し)



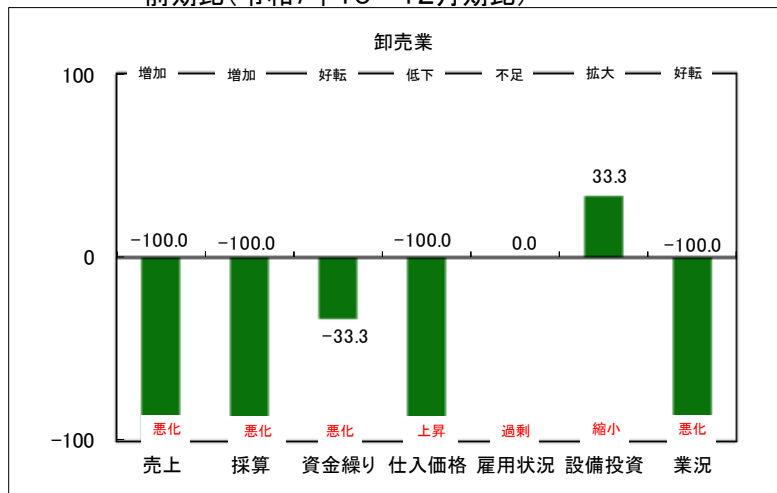
業種別景気動向

卸売業

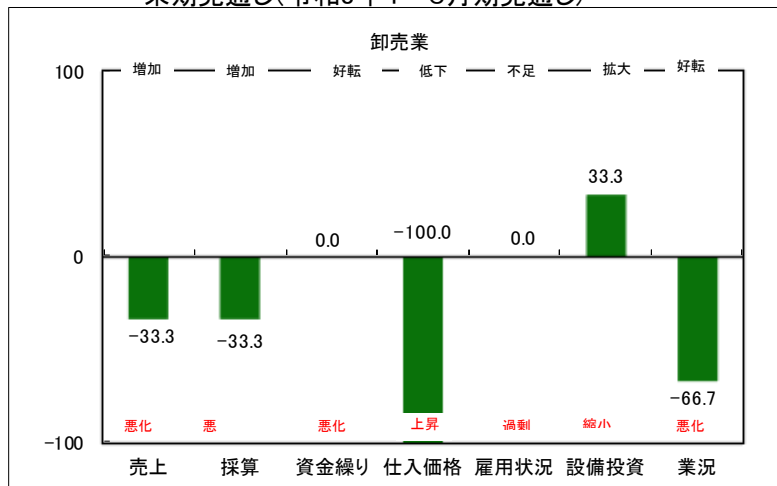
前年同期比(令和7年1~3月期比)



前期比(令和7年10~12月期比)



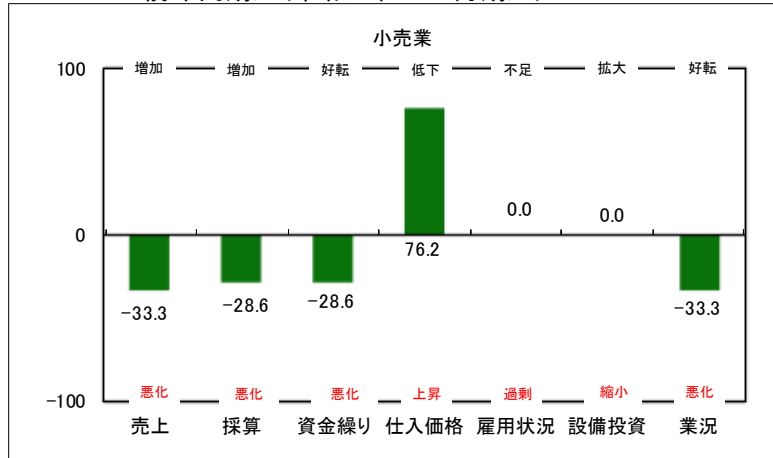
来期見通し(令和8年4~6月期見通し)



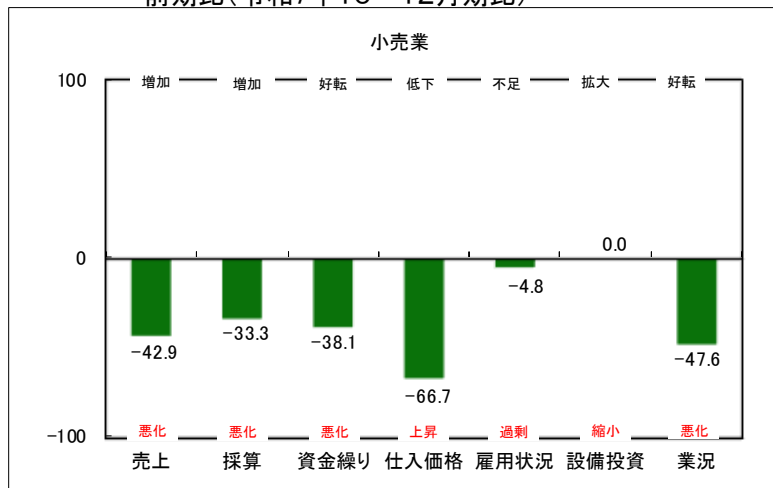
業種別景気動向

小売業

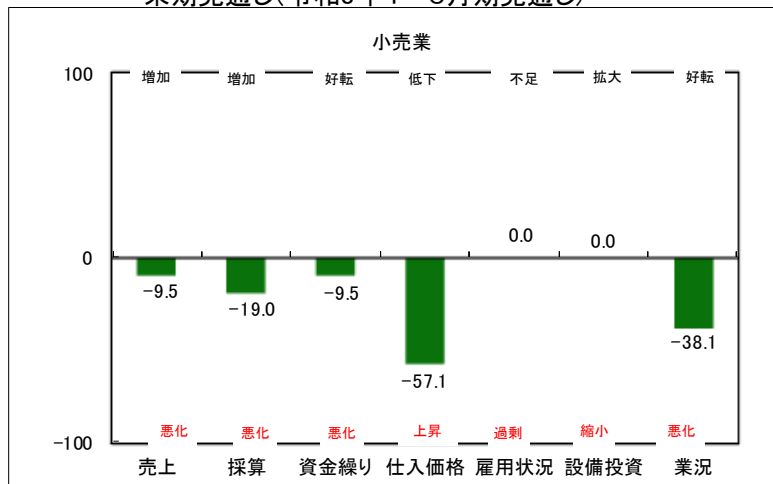
前年同期比(令和7年1~3月期比)



前期比(令和7年10~12月期比)



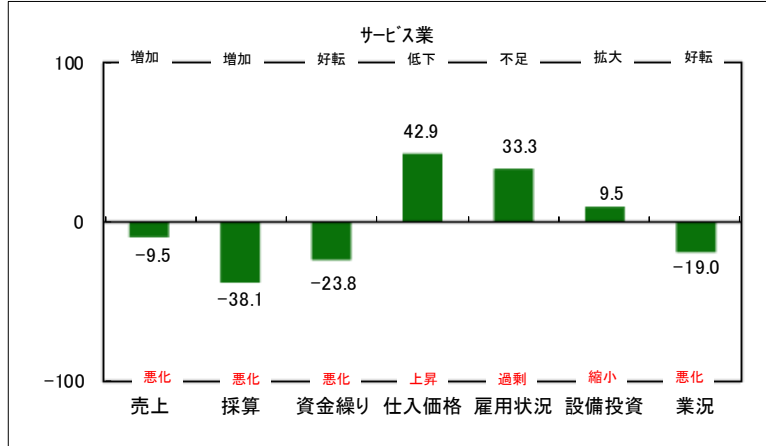
来期見通し(令和8年4~6月期見通し)



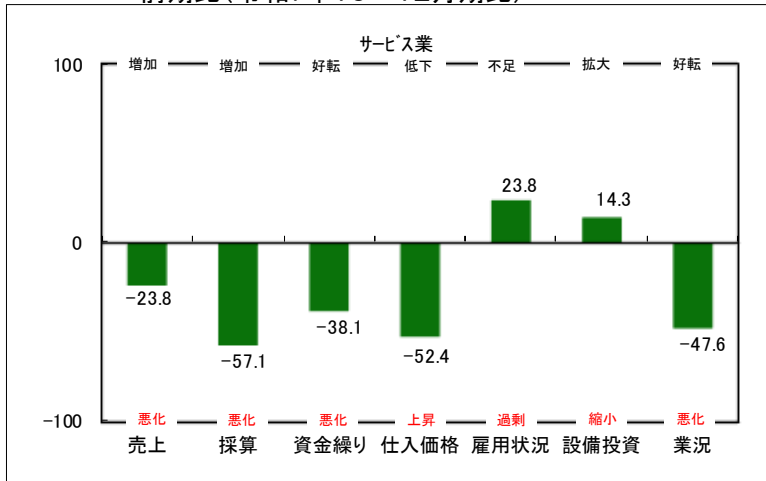
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和7年1~3月期比)



前期比(令和7年10~12月期比)



来期見通し(令和8年4~6月期見通し)

